












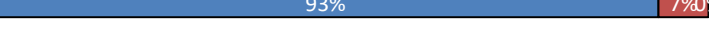







令和7年度 学校評価 結果(12月・7月)

上段(令和7年度12月) 下段(令和7年度7月)

西条市立橘小学校

【回答率】 教職員100% 児童100% 保護者 82%

児童像	具体的な取組	番号	対象	設問	A よく	B やや	C あまり	D まったく	肯定的	否定的	考察・改善案等（継続したほうがいいこと、よかったこと、改善案）		
たくましい心と体の橋っ子	ふるさと「橘」を素材にした、 <b>体験活動</b> （栽培活動等）、 <b>環境教育</b> （緑の少年団活動）を推進し、 <b>ふるさとに感謝し、たくましく生きぬく</b> 児童を育てる。	1	教職員	地域学校協働活動を通して、たくましく生きぬく児童を育てている。	R7.12月	<div><div></div><div></div></div> <div>77%23%</div>			100%	0%	・7月と比較しても、教職員・児童・保護者の肯定的評価はいずれも非常に高く、安定して推移している。地域学校協働活動や体験活動を通して、児童が地域の方々に感謝の気持ちを持ちながら生活している姿が継続して見られる。前期から後期にかけて、この取組が学校生活の中に定着してきていることがうかがえる。		
			児童	地域の方々に感謝の気持ちを持って生活している。	R7.12月	<div><div></div><div></div></div> <div>68%31%1%</div> <div>79%20%0%</div>			99%	1%			
			保護者	お子様は、地域の方々とのふれあいを通して、感謝の気持ちを持っている。	R7.12月	<div><div></div><div></div></div> <div>30%64%6%</div> <div>35%59%6%</div>			94%	6%			
	望ましい生活習慣の確立、食育の推進、保健・体育活動の充実、により、児童のたくましい心身を培う。	2	教職員	「食育」「外遊び」等を推進し、児童の健康・体力づくりに努めている。	R7.12月	<div><div></div><div></div></div> <div>54%46%</div> <div>38%62%</div>			100%	0%	・学校における取組については、7月と12月を比べても高い評価を維持している。一方で、児童・保護者の回答を見ると、前期から後期にかけて大きな変化はなく、家庭での生活習慣の定着については引き続き課題が見られる。 ・月1回の生活調べについては、7月・12月ともに教職員の評価は非常に高く、継続的な取組として定着していることが分かる。前期から後期にかけて、生活の振り返りを行う習慣が児童に根付いてきていると考えられる。 ○引き続き、学校での指導を継続するとともに、家庭で実践しやすい具体例を示しながら、生活習慣の定着を家庭と連携して進めていきます。 ○今後も生活調べを継続し、児童の変化を丁寧に捉え、家庭とも情報を共有しながら支援を行っていきます。		
			児童	「早寝・早起き・朝ご飯」を毎日続け、天気の良い日には外で遊んでいる。	R7.12月	<div><div></div><div></div></div> <div>54%40%6%</div> <div>55%40%5%</div>			94%	6%			
			保護者	「お子様は、ご家庭で、毎日、「早寝・早起き・朝ご飯」をし、天気の良い日には進んで外遊びをしている。	R7.12月	<div><div></div><div></div></div> <div>23%61%16%0%</div> <div>51%41%8%</div>			84%	16%			
3	教職員	月一度の生活調べを活用し、児童の生活習慣の確立に努めている。	R7.12月	<div><div></div><div></div></div> <div>54%46%0%</div> <div>46%54%0%</div>			100%	0%					
ちえをだしみんなでのびる橋っ子	体験的な学習、 <b>問題解決的な学習</b> 等において、様々な考えを出し合い、学び合う <b>授業実践</b> により、ともに伸びようとする児童を育てる。	4	教職員	体験的な学習、問題解決的な学習等、絶えず授業改善を行い、そこで、様々な考えを出し合う場を設定して、学び合う児童を育てている。	R7.12月	<div><div></div><div></div></div> <div>62%38%</div> <div>46%54%0%</div>			100%	0%	・授業中の話合いや意見交流について、児童の肯定的評価は7月から12月にかけて概ね維持されている。一方、保護者の評価では、家庭での「話す・聞く」場面について、前期と同様の課題が見られる。学校で培った力を家庭生活へとつなげる工夫が、引き続き求められている。 ・補充的・発展的な学習については、7月・12月ともに教職員の評価が高く、継続した授業改善が行われていることが分かる。		
			児童	「授業中、グループや全体の話し合いで、友達の話をよく聞いたり、自分の意見をすすんで発表したりしている。	R7.12月	<div><div></div><div></div></div> <div>44%43%9%4%</div> <div>57%40%3%</div>			87%	13%			
			保護者	「お子様は、ご家庭で、人の話をよく聞き、また、自分の思いや意見を積極的に話している。	R7.12月	<div><div></div><div></div></div> <div>23%58%19%0%</div> <div>44%40%16%</div>			81%	19%			
		5	教職員	補充的な学習・発展的な学習を取り入れることにより、基礎・基本の確実な定着に努めている。	R7.12月	<div><div></div><div></div></div> <div>93%7%</div> <div>93%7%</div>			100%	0%	○授業での学び合いの様子を積極的に発信し、家庭でも児童が学びを言葉にする機会を増やしていきます。 ○今後も個に応じた指導を大切にし、児童が学習の成果を実感できる場を継続して設定していきます。		
			6	教職員	学級活動、集会活動、全校縦割り班活動の工夫により、ともに伸びようとする児童を育てている。	R7.12月	<div><div></div><div></div></div> <div>23%70%7%</div> <div>23%70%7%</div>			93%		7%	・縦割り班活動については、7月と12月を比較しても児童・保護者ともに高い評価を維持している。活動を重ねる中で、学年を超えた関わりが自然なものとして定着してきている様子が見える。 ○今後も縦割り班活動を工夫し、互いに助け合い、学び合う姿をさらに育てていきます。
				児童	学級の友達やたてわりはんの友達と協力して活動できている。	R7.12月	<div><div></div><div></div></div> <div>77%21%2%</div> <div>72%28%</div>			98%		2%	
	保護者	「お子様は、地域活動で、友達と協力して活動できている。	R7.12月	<div><div></div><div></div></div> <div>38%54%8%</div> <div>57%32%11%</div>			92%	8%					
	あいさつ運動の推進、美化活動の推進により、笑顔の絶えない学校づくりをする。	7	教職員	「おはよう」「ありがとう」「返事」等ができるよう、継続して指導・支援している。	R7.12月	<div><div></div><div></div></div> <div>54%46%</div> <div>54%46%</div>			100%	0%	・学校内での挨拶については、7月から12月にかけて高い評価を維持している。一方、家庭や地域での挨拶については、前期同様に課題が見られ、学校外での実践につなげることが今後の課題であると考えられる。 ○特に地域に対しての挨拶指導を継続し、どの場面でも進んで挨拶ができる児童の育成を目指します。 ○気持ちの良い、相手に伝わる挨拶や返事の仕方について指導します。		
			児童	自分から進んで気持ちのよいあいさつをしている。	R7.12月	<div><div></div><div></div></div> <div>57%37%5%</div> <div>66%32%3%</div>			94%	6%			
保護者			「お子様は、ご家庭や地域で、積極的にあいさつをしている。	R7.12月	<div><div></div><div></div></div> <div>28%59%13%0%</div> <div>51%40%8%2%</div>			87%	13%				

児童像	具体的な取組	番号	対象	設問	A よく	B やや	C あまり	D まったく	肯定的	否定的	考察・改善案等（継続したほうがいいこと、よかったこと、改善案）
ばら色のえがおで あいさつ橋っ子	「互いに認め合い、励まし合い、戒め合う学級・学校づくり」「教育相談体制、指導体制の充実」を通して、「夢と希望」に満ちた学校づくりをする。	8	教職員	「善悪のけじめ」「学習規律の確立」「道徳教育」等を通して、互いに認め合い、励まし合い、戒め合う学級・学校づくりに努めている。	R7.12月 				100%	0%	・「善悪のけじめ」や「互いに認め合う姿勢」については、7月・12月ともに高い評価が得られている。前期から後期にかけて、児童の安心感がより高まっていると考えられる。 ・教育相談体制については、7月・12月ともに教職員の評価が非常に高い。  ○今後も道徳教育や学級活動を通して、思いやりの心を育てる取組を継続していきます。相談体制についても早期対応を大切にし、保護者との連携を密にしながら支援を続けていきます。
			児童	「やってはいけないこと」「やっていいこと」「やらなければならないこと」のけじめをつけ、友達と認め合い、はげまし合い、注意し合って活動している。	R7.12月 				93%	7%	
			保護者	お子様は、ご家庭や地域で、「善悪のけじめ」をつけ、進んでよい行いをしている。	R7.12月 				91%	9%	
			教職員	教育相談体制・指導体制を整え、児童が安心して通える学級・学校づくりに努めている。	R7.12月 				100%	0%	
なにごとにも進んで行う橋っ子	特別活動（話し合い・集会・係・飼育栽培・縦割班活動・美化活動等）を充実し、自主的、実践的な態度を育てる。	10	教職員	「話し合い」「集会」「係（委員会活動も）」等、自主的に実践できるよう、継続して指導・支援している。	R7.12月 				100%	0%	・学校での係活動や委員会活動については、7月から12月にかけて高い評価を維持している。一方、家庭での手伝い等については前期と同様に課題が見られます。 ・清掃活動については、前期・後期を通して安定した評価が得られており、主体的に取り組む姿が定着していると考えられる。  ○学校で育てた自主性を家庭生活にも生かせるよう、家庭と連携した取組を進めていきます。 ○清掃活動では今後も活動の意味を振り返り、自分たちの学校を大切にする心を育てていきます。
			児童	学級のかかりの仕事（高学年は委員会活動も）などをいっしょうけんめいしている。	R7.12月 				99%	1%	
			保護者	お子様は、ご家庭で、自分の仕事やお手伝い等、進んで行っている。	R7.12月 				68%	32%	
			教職員	自主的に美化活動に参加し、主体的に実践できるよう、継続して指導・支援している。	R7.12月 				93%	7%	
	基礎基本の確実な定着に向けた授業実践、「家庭学習の手引き」等による家庭学習の推進等により、主体的に学習に取り組む児童を育てる。	12	教職員	家庭学習習慣の定着を目指した取り組みを工夫し、継続して指導、支援している。	R7.12月 				100%	0%	・家庭学習については、児童の評価は7月から12月にかけて高い水準を維持しているが、保護者の評価では引き続き課題が見られる。家庭学習の取り組み方に差があることが要因と考えられる。  ○「家庭学習の手引き」を活用し、家庭と連携しながら、無理なく継続できる学習習慣の定着を図ります。
			児童	家で、自分で進んで勉強したり、ちゃんと次の日の勉強の準備をしたりしている。	R7.12月 				93%	7%	
			保護者	お子様は、ご家庭で、自分で進んで学習したり、きちんと次の日の学習の準備を行ったりしている。	R7.12月 				73%	27%	
			教職員		R7.7月 						
家庭・地域との連携・協力	地域活動への積極的な参加、地域ボランティアの計画的な活用、等により、学校・家庭・地域の連携を強める。	13	教職員	「地域活動への積極的な参加（リサイクル活動・危険箇所点検等への参加）、教育課程に地域素材を計画的に取り入れるなどすることにより、学校・家庭・地域の連携を強める取組を実践している。	R7.12月 				100%	0%	・地域行事への参加については、7月・12月ともに高い評価を維持しており、150周年記念事業など、地域とともに子どもを育てる取組が実践できている。  ○今後も地域の皆様とのつながりを大切にし、学びを深めていきます。
			児童	地域の行事にすすんで参加したり、地域の人といっしょに楽しく活動したりしている。	R7.12月 				95%	5%	
			保護者	お子様は、地域行事に積極的に参加している。	R7.12月 				89%	11%	
			教職員		R7.7月 						
	各種たより、HP等による情報発信、行事の感想等による情報収集の充実等により、双方向の情報共有に努め、学校・家庭・地域の連携を強める。	14	教職員	学校便り・保健便り・HP等による積極的な情報発信、保護者や地域からの意見・情報収集に努め、学校・家庭・地域の連携を強める取組を実践している。	R7.12月 				100%	0%	・学校だよりやホームページによる情報発信については、7月から12月にかけて概ね評価を維持していますが、より分かりやすい発信を求める声も見られる。  ○今後も情報発信の工夫を重ね、学校だより、HP等を通して、学校からのお知らせや様子を伝えるよう努めます。
			児童	家の人に、学校ことを話したり、お知らせを確かめたりしている。	R7.12月 				94%	6%	
			保護者	学校便り・保健便り等を読んだり、学校のホームページを閲覧したりしている。	R7.12月 				87%	13%	
			教職員		R7.7月						